

# 読む**中学**進学 ■

## ’15 年中学入試現状分析



森上教育研究所 学校アドバイザー  
小泉壮一郎

2015/03



リーマンショック以降の中学入試における受験者数の減少は長期間続きましたが、'14年度入試から減少が緩和され、景気も好転しました。'15年度入試では、サンデーショックの影響で女子校を中心に受験者数が増加することが予想され、実際に2%程度の増加となりました。サンデーショックでは、受験する学校数が増えるだけで、実質的には受験者数は、前年対比でほぼ横ばいとなりました。そして、'16年度は、受験者数が横ばいから増加になる大きな転換点となる可能性があります。来年の入試の動向を予想します。

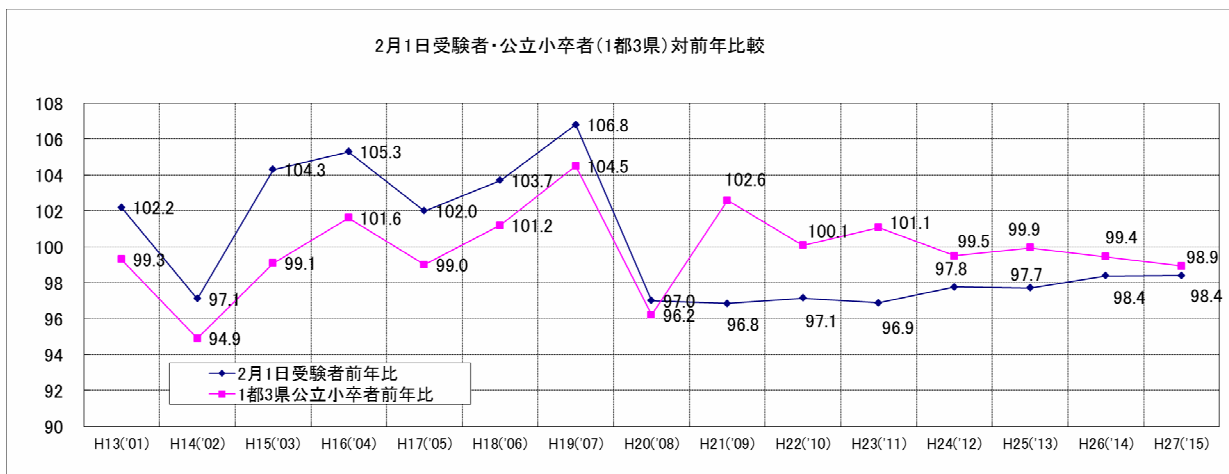
リーマンショックから今までを振り返ると、中学入学の受験者数は確実に減少し続けてきましたが、'14年度7～12月に行われた大手模擬試験の志望校志願者数からは、'15年度入試の受験者数は増加の予想となりました。

実際に、'15年度入試の受験者数は、前年比102.2%とリーマンショック以降初めて100%を上回り、増加となりました。しかし、模試と同じようにサンデーショックを考慮すると、実質的な受験者数は前年対比100%の横ばいと考えられます。

受験者・公立小卒者の動向は、受験者は微増傾向、公立小卒者は微減傾向でした。リーマンショック以前は、中学受験者数を予想するのは、比較的簡単でした。他に考慮すべき要素もありましたが、公立小学校卒業生数（公立小卒者数）の増減が最も大きな要因で、公立小卒者数の増減で受験者数の動向は決定したからです。少なくとも'08年までは、受験者数は公立小卒者数の影響だけを考えればよかったのですが、'09年以降は景気の影響も考えなければならなくなりました。

小6人口のほとんどを占める公立小卒者数（1都3県）は、'08年に大幅な減少となった直後、'09年に増加した後は、'10～'15年の前年対比は、微減傾向となっています。それに対し、2月1日受験者数は'08～'15年の前年対比は97～98%前後で減少し続けていますが、グラフの傾きで見ると微増傾向が見られます（資料1）。

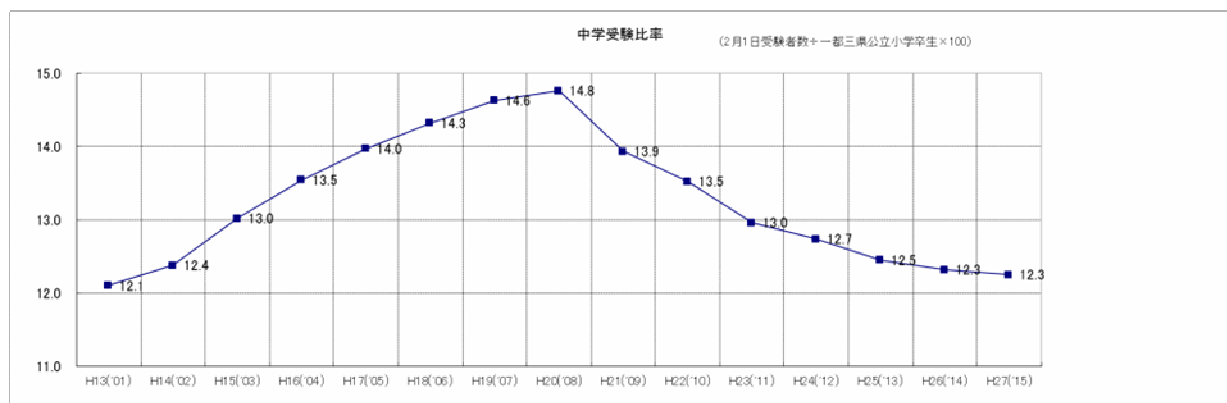
〈資料1〉2月1日受験者数・公立小卒者（1都3県）前年対比





中学受験比率は、中学受験ブーム前の水準になりました。中学受験比率（2月1日受験者数÷1都3県公立小卒者数×100）では、公立小卒者数に左右されることなく、100名当たりの1都3県の公立小6生が中学受験をする割合を知ることができます。’15年度は、中学受験のブームが始まった’01年度の水準まで戻ったと考えるべきでしょう〈資料2〉。

〈資料2〉 中学受験比率（2月1日受験者数÷1都3県公立小卒者数×100）

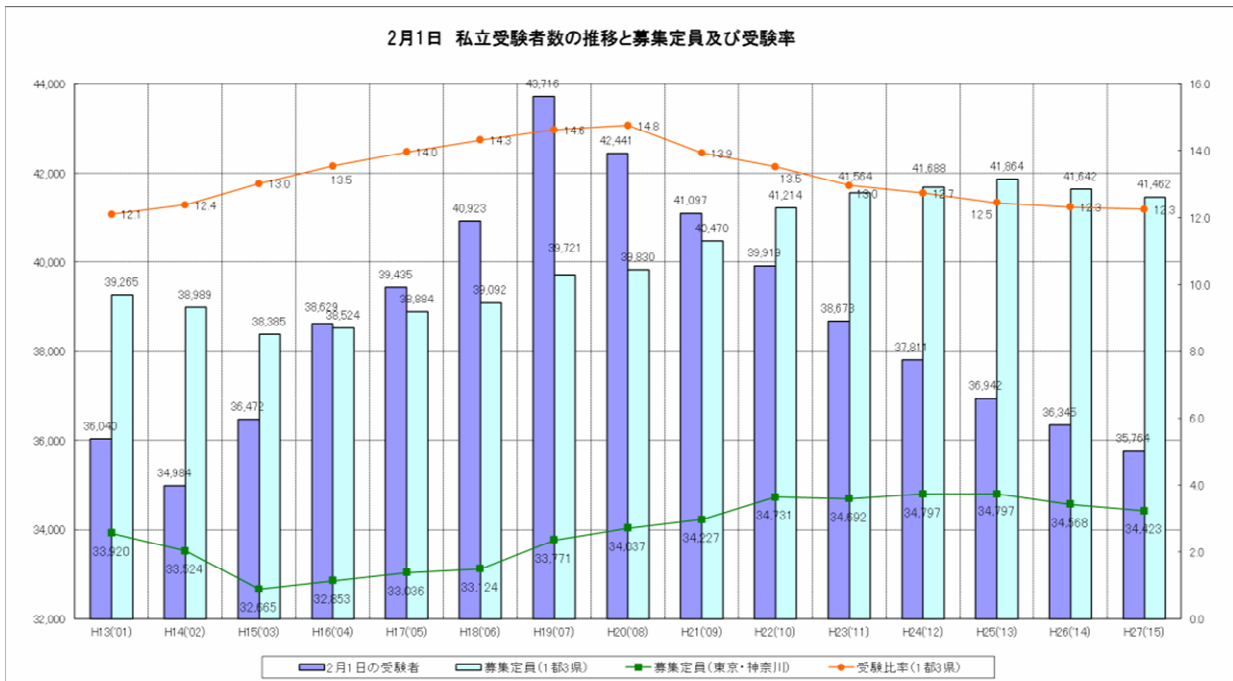


受験者数と募集定員・受験比率は全体的に難易度は下降傾向が見られます。〈資料1〉が示すように、’08年以降の受験者数の減少は、私立中学受験を行う公立小卒者の割合が少なくなったことを示しています。

しかしながら、1都3県の募集定員は’14年と’15年で多少減少したものの、’08年以前から増加傾向にあり、受験者数が減少した’09年以降もその傾向は続いたので、倍率は低くなり、入試はやさしくなったはずですが、ただし東京・神奈川の募集定員は’10年以降は横ばいで、入試がやさしくなったとはいえません〈資料3〉。



〈資料3〉 2月1日私立受験者数の推移と募集定員及び受験比率



学校種別と学校ランクによる分析では二極化傾向が続いてきましたが、’15年度ではその傾向が消滅しました。’14年度入試では学校種別（男子校・女子校・共学校の種別）の受験者数の前年対比は、それほど大きな差はありませんでした〈資料5〉。しかし、’15年度入試では、サンデーショックの影響で、女子校 108.8%、共学校 101.1%に対し、男子校は 98.1%と大きな差になりました〈資料4〉。

四谷大塚の学校ランクを使って前年と対比すると、F・Gランク以外のランクでは受験者数は前年を上回りましたが、Gランクだけは20ポイント以上の顕著な減少となりました。リーマンショック以降、不況下では、学校ランクは、上位ランクと中下位ランクで減少率が二極化してきましたが、’14年度入試ではその傾向が緩和され、’15年度入試ではその傾向が消滅しました。

学校ランクと学校種別を掛け合わせると、学校ランクや学校種別の受験者数前年対比の増減原因がわかります。例えば、Gランクの減少78.1%は女子校79.2%と共学校73.6%が原因で、サンデーショックの影響はありませんでした〈資料4〉。これによると、学校ランクによる二極化が明確です。特殊な入試や差別化できる教育内容で、これまで比較的減少率が低かったHランクも、Fランクと同様40ポイント程度の減少率となっています。しかし、ここで注意していただきたいのは、同じ中下位ランクでも受験者数が増えている学校もあるということです。



- 表示：受験者数が比較的多い(前年対比が100%以上、※H27/H21が90%以上)  
受験者数が比較の少ない(前年対比が90%未満、※H27/H21が70%未満)  
参考データ(受験者数1,000名未満のため) <小さく斜体で表示>

例:	<b>102.7%</b>
例:	<b>88.4%</b>
例:	<i>95.5%</i>

- 半附属校：系列校大学推薦進学が30%～69% 進学校：同30%未満 付属校：同70%以上
- 学校ランク：四谷大塚偏差値  
A65以上、B64～60、C59～55、D54～50、E49～45、F44～40、G40未満、Hは非エントリー
- 北東部東京：北、板橋、足立、葛飾、荒川、台東、墨田、江東、江戸川区

〈資料4〉2015年 学校ランクと学校種別受験者数前年対比（'15/'14）

		学校種別			
		男子校	女子校	共学校	合計
学校 ラ ン ク	A	103.3%	103.9%	102.9%	103.5%
	B	95.1%	119.5%	98.9%	100.3%
	C	101.9%	105.8%	109.0%	107.3%
	D	96.3%	111.3%	100.7%	103.3%
	E	88.9%	161.0%	97.7%	101.8%
	F	<i>79.5%</i>	104.1%	94.5%	96.9%
	G	<i>105.1%</i>	<i>79.2%</i>	<b>73.6%</b>	<b>78.1%</b>
	H	<i>107.0%</i>	102.2%	106.0%	105.3%
	合計	98.1%	108.8%	101.1%	102.2%

〈資料5〉2014年 学校ランクと学校種別受験者数前年対比（'14/'13）

		学校種別			
		男子校	女子校	共学校	合計
学校 ラ ン ク	A	95.4%	96.3%	91.8%	94.6%
	B	101.4%	99.6%	103.6%	102.0%
	C	99.0%	99.4%	106.1%	103.3%
	D	102.0%	94.4%	99.3%	98.0%
	E	99.4%	94.1%	91.2%	92.6%
	F	<i>52.2%</i>	98.6%	98.1%	95.0%
	G	<i>110.5%</i>	<i>90.5%</i>	<b>84.8%</b>	<b>89.2%</b>
	H	<i>90.0%</i>	99.1%	<b>88.9%</b>	91.3%
	合計	98.1%	96.7%	97.2%	97.3%

〈資料6〉学校ランクと学校種別受験者数増減率（'15/'09）（'09年度=100%）

		学校種別			
		男子校	女子校	共学校	合計
学校 ラ ン ク	A	95.9%	88.4%	86.0%	90.0%
	B	78.9%	100.4%	83.4%	83.9%
	C	85.2%	97.3%	131.7%	112.6%
	D	82.0%	82.3%	94.4%	86.4%
	E	78.0%	91.8%	<b>63.9%</b>	<b>68.2%</b>
	F	24.0%	<b>63.9%</b>	<b>53.6%</b>	<b>54.4%</b>
	G	55.8%	36.2%	<b>34.5%</b>	<b>36.4%</b>
	H	61.0%	<b>63.2%</b>	<b>61.1%</b>	<b>61.6%</b>
	合計	80.8%	79.2%	78.5%	79.2%



2015年中学入試現状分析で、どのような教育が求められているかは、受験者数が増えている学校を見ることでわかります。受験者数が増えている学校こそ、受験生・保護者に求められている学校だと思えます。’15年度中学入試で、受験者数前年対比が高い学校の特徴を「前年より受験者が増えた学校にみられる特徴」としてまとめました。

前年より受験者が増えた学校にみられる特徴

1. 中学入試の偏差値の割に大学合格実績が高い
2. 理系の大学合格実績が多い
3. 実用できる英語教育に優れている
4. 人間力を身につける教育を行っている
5. 大学入試改革に対応した教育を行っている

1～4は前年と同様でしたが、5については、大学入試改革が差し迫った問題として新聞にも取り上げられており、受験生・保護者も関心を持って志望校の選定要素としているようです。これまでの傾向として志望校の選定では大学合格実績は、欠くことのできない要素でしたが、2015年中学入試では大学合格実績を学校パンフレットでほとんど表示していない学校が受験者数を顕著に増やしている学校がありました。